

## シグマ研究委員会

### 核データ専門部会核データ評価ワーキンググループ

#### 共鳴パラメータサブワーキンググループ議事録

日 時 昭和49年8月9日 13時30分～17時30分

場 所 原研本部第3会議室

出席者 浅見 明(原研) 瑞慶覧 篤(動燃)

中嶋 龍三(法大) 中川 庸雄(原研)

吉田 正(NAIG)

#### 議 事

##### 1. 各作業の現状報告

<sup>235</sup>U (浅見) データ収集を終了し、データの表はできた。  
アブストラクトの表もほぼできている。あとはデ  
ータのコメントと解説文をつけてでき上がりである。

<sup>238</sup>U (中川) データ表とアブストラクト表の一部ができた。

<sup>239</sup>Pu (吉田) データ表はできたが、もう少しチェックをしたい。  
文章とアブストラクトがほぼできている。

<sup>240</sup>Pu (瑞慶覧) データは集めたが表にしていない。全体の数が少  
ないので集中的に作業をしてしまいたい。

##### 2. 作業のまとめについて

今までJAERI-memo としてまとめる事にしていたが、検討の結果、  
JAERI-M レポートにする事にした。

表が多くなるので印刷の仕方を、浅見、中川の両委員が原研の技術情報部と打ち合せたが、結論はまだ出していない。M-レポートにするので英文で文章を書く事にした。時期としては1~2ヶ月間で原稿をまとめる事が適当だと考えられる。原稿が完成した時は、表を除く部分をコピーしメンバーとコメントーターに配布しコメントをもらい、最終原稿を作る。最終原稿は核データ研究室(中川)に送る事とする。

### 3. 今後のすすめ方

非分離領域の問題を検討したが結論は出なかった。とりあえず分離領域の収集、評価をし、その後の問題として考える事とする。

### 4. その他

中川委員より、pre J'ENDL 用データの作成依頼が各委員になされた。